

# 第1回 柳川市観光まちづくり推進委員会 説明資料

快適な暮らしと水郷情緒が楽しめるまち  
～住んでよし、訪れてよしのまち 柳川～

平成26年7月9日  
柳川市産業経済部観光課

1

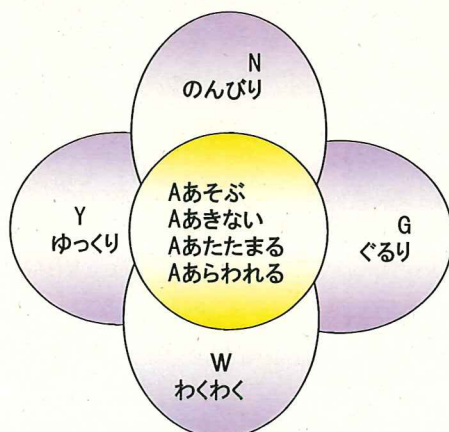
## 議題1 観光振興計画 <平成21年度～平成30年度の10カ年計画>

平成21年3月、九産大商学部観光産業学科千教授研究室の協力を得て策定。

### ■柳川観光の将来像 地域力が創る観光・交流都市「水郷・柳川」

#### ■基本理念

- 1 水郷・柳川のまちづくり ～いやしとやすらぎの提供
- 2 感動と創造のまちづくり ～地域の活性化と満足度の高いサービスの提供
- 3 地域力のまちづくり ～人材育成と協働



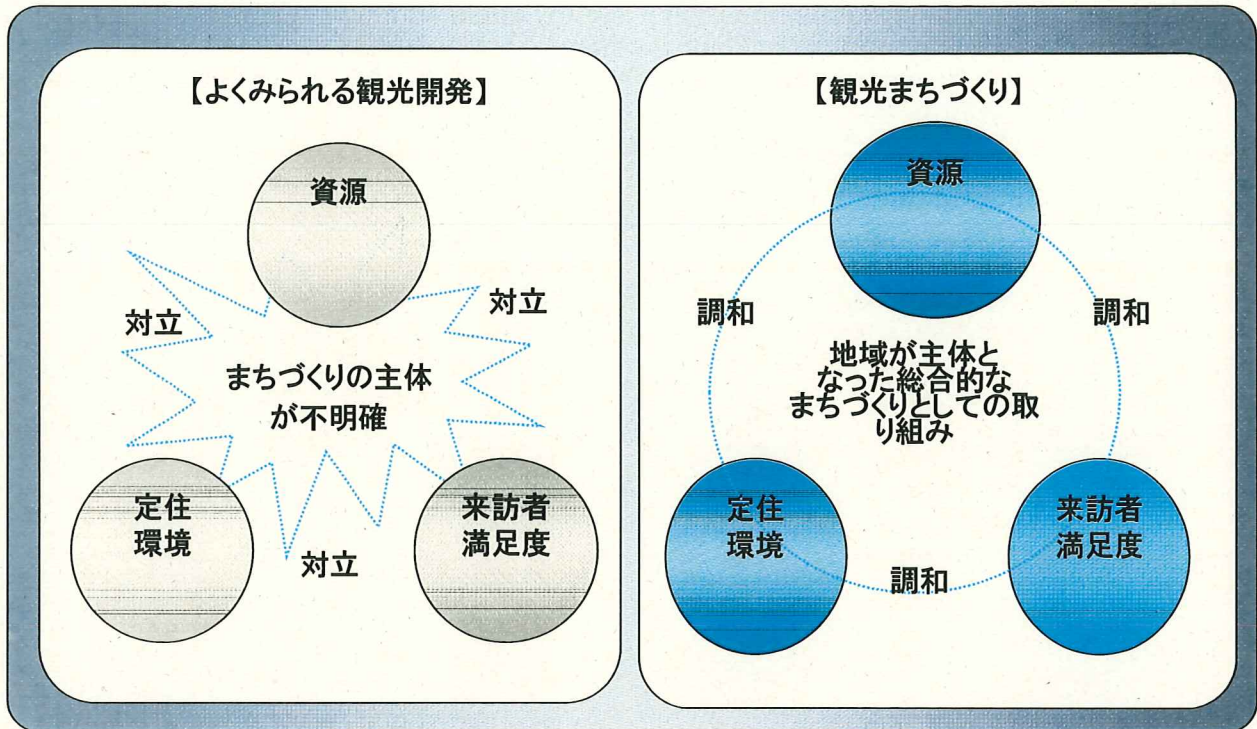
#### ■基本コンセプト 水郷といやしのたたずまい

Y ゆっくり  
N のんびり  
G ぐるり  
W わくわく

A あそぶ＝旅行する  
A あきない＝何度も訪れたいくなる  
A あたたまる＝心が豊かになる  
A あらわれる＝発見

2

議題1 観光振興計画 ～キーワード「観光まちづくり」



①地域住民の「定住環境」 ②観光素材となる「地域の資源」 ③そして「観光客の満足」  
柳川市民が、地域資源を活用し、お客様の満足度を高める。

3

議題1 「観光まちづくり」 <住んでよし、訪れてよしのまちづくり>

「観光」は、地域の光を観ること・観せること。

～「光」は市民の暮らしや風景そのもの。磨き上げられた日常に人は呼び寄せられる。

■住む人が減れば地域で動くお金も縮小する。  
平成17年3月・新市発足時の人口約76,124人。平成26年6月末69,911人。  
9年3ヶ月で約6,200人の人口減少。

■総務省と観光庁の試算では、国民1人あたりの年間消費額は121万円。  
単純計算で、現在と合併時を比較すると約75億円の消費額が消失。  
平成25年「柳川市観光動態調査」で、約125万人の観光客が約48.3億円を消費。  
人口1人あたりの消費額＝日帰り客79人、宿泊客24人、外国人7人。

■一方、少子化と高齢化の進む柳川では、定住人口を増やす施策が重要。  
交流人口を増やし、柳川にお金の落ちる仕組みづくりも重要。

■ニーズの高度化・多様化 ～旅慣れた個人客が、インターネットで決める時代。  
①情報量が増え、正確で、質が良くなり、スピードが速くなった。  
②双方向性。生のお客の声・評価がすぐに伝わるようになった。

■地域の日常生活を体験するニーズ高まる ～お客様にとって新鮮な驚き、感動  
地域全体で受け入れ態勢を充実させ、満足度を高める。～交流人口増加に結びつける。

■住む人が心地よいまちは、訪れる人も心地よい。  
自分が暮らす地域を好きになり、誇りに思う、自慢する。～定住人口増加に結びつける。

4

## 議題1 観光振興計画 ～7本の戦略

地域力が創る観光・交流都市「水郷・柳川」			
水郷といやしのたたずまい	柳川らしさの育成・発展	<b>戦略1</b> <b>柳川ブランドの構築</b> ー「水郷・柳川」の価値づくり	①水郷・柳川の実現 ②柳川ブランドづくり ③地場産品の品質保証・管理の仕組みづくり ④柳川ならではの体験メニューの開発
		<b>戦略2</b> <b>食の魅力づくり</b> ー柳川の食の強みを活かす	①食を楽しむ空間づくり ②食の選択幅の拡大 ③地元食材を活かした加工品の開発 ④食の魅力を担う人材育成
		<b>戦略3</b> <b>魅力的な地域づくり</b> ー市民、観光客双方にとっての心地よい空間づくり	①四季型・滞在型観光地づくり ②自然環境資源の持続的な活用 ③統一的な景観形成 ④交通インフラの充実 ⑤アメニティ(快適性)の向上
	全域・市民による観光まちづくり	<b>戦略4</b> <b>多様な集客資源の融合</b> ー柳川市全体の観光魅力を最大限に活かす	①広域的な観光プログラムの開発 ②市内でのスムーズな案内誘導の実現 ③潜在的な魅力の発掘と観光活用 ④地域の観光資源とイベントの連携
		<b>戦略5</b> <b>地域力向上</b> ー柳川市民が担う観光まちづくり	①観光を支える人材育成 ②おもてなしの精神の醸成 ③各組織間の連携仕組みづくり ④市民参加体制づくり
		<b>戦略6</b> <b>観光情報発信・受信の充実</b> ー柳川の魅力に適時・的確に発信	①柳川観光のイメージアップ ②マスメディアへの積極的な情報提供 ③ターゲットに応じた多様な情報提供 ④観光客のニーズを把握するための定期的なモニタリングと情報の共有
		<b>戦略7</b> <b>国際観光の推進</b> ー国際観光を振興	①外国人が一人歩きできるまちづくりの推進 ②外国人旅行者の受け入れ態勢の整備

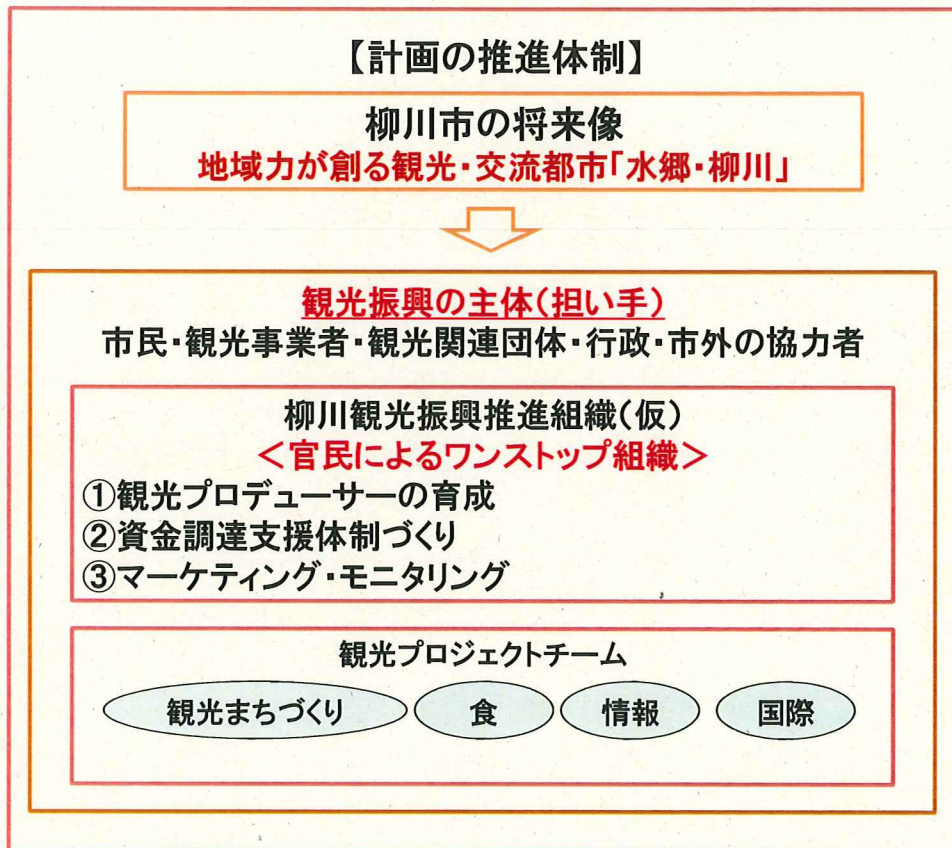
## 議題1 観光振興計画 ～数値目標

<目標年次> 短期：平成22年 中期：平成25年 長期：平成30年

- 観光入込客数<平成20年「観光客延べ人数」1,112,886人>  
22年115万人、25年130万人、30年150万人
- 外国人観光客数<平成20年「外国人観光客数延べ人数」82,372人>  
22年10万人、25年14万人、30年18万人
- 観光消費額<平成20年46億円(一人4,144円)>  
22年49億円(一人4,300円)、25年58.5億円(4,500円)、30年75億円(5,000円)
- 項目別満足度

	平成20年 調査結果(%)	目標値(%)		
		平成22年	平成25年	平成30年
食事	59.2	60.0	65.0	70.0
みやげ品	37.2	40.0	45.0	50.0
観光施設とその内容	42.6	45.0	50.0	55.0
当地までの案内看板等の整備状況	36.4	40.0	45.0	50.0
市内での移動	37.3	40.0	45.0	50.0
観光施設、街の人たちのおもてなし	54.2	55.0	60.0	65.0
市内での観光情報	35.0	40.0	45.0	50.0
旅行全体	62.1	65.0	70.0	80.0

## 議題1 観光振興計画 ～絵に描いた餅ではなく、計画事業を推進



7

## 議題1 前回委員会から市長への提言書（写し）

平成23年11月10日

柳川市長 金子 健次 様

柳川市観光まちづくり推進委員会  
会長 千 相 哲

観光まちづくりに向けた【選択と集中プラン】について(提言)

首記について、別紙のとおり成案を得ましたので、ここに提言します。

プランづくりにあたり、観光を専門とする委員に参画していただき、精力的かつ積極的な意見をいただきました。

まず、柳川観光の現状と課題、数値目標の達成度、短期プロジェクトの評価、満足度調査など「これまでやってきたこと、やり残したこと」を振り返ると共に、九州・福岡における取り組みを共有した上で、時代の潮流や社会情勢の変化などを踏まえ、「やってきたことは、このままでいいのか」について、広い視点から議論しました。

「選択と集中プラン」は、

- ①観光施策の方向性として、どうやっていくのか。
- ②柳川にとっての柱は何か。
- ③実現するには、具体的にどういったやり方が望ましいのか。

以上の3つの視点から、各論について議論し、提案されたキーワードを中心に抽出し、整理して策定しました。

特に、事業の実施にあたっては、観光の地域貢献度を啓発するとともに市民の暮らしと観光の距離を縮める視点から、「柳川の身の丈に合っている」、「柳川人が根付かせる」、「やっている人が楽しむ」など、プランが絵にかいた餅にならないように、行動実践を重視したプランづくりに努めました。その実施主体は柳川の連携、即ち「地域力」を生かすことが肝要と思われれます。

今後、「観光まちづくり」の実現に向け、柳川内外との連携を進めながら、平成24年度以降の予算編成、人員配置について、重点的かつ具体的に取組まれますよう要請します。

8

## 議題1 前回提言のポイント 平成24年度～3年間の観光施策

### 1 受け入れる側の質を向上させる・態勢を充実する

- ①柳川の「快適性」、即ち「アメニティ」に関する不満割合が高かった。
- ②お客様のマーケットが広がった。  
時間とお金をかけて来ていただくことは、期待度合いが高まり、満足度のハードルが高まる。来られる前の柳川のイメージと、実際の柳川のギャップが不満要素に反映されていた。

### 2 今一度「ベーシックなもの」に立ち返る

「自分が評価するものでないとお金を使わない」消費者が増える中、柳川に求められるものは、「連れてきた人ががっかりさせないまちづくり」。

### 3 柳川のアイデンティティ＝「水郷柳川」のブランド構築

時代がいかに変化しようとも変えられないアイデンティティ、「絶対価値」は「水郷柳川」。「水郷柳川」ブランド構築に向け、中長期的かつ分野横断的に、市民と連携した取組みを。

### 4 最優先すべき戦略「柳川観光の柱」

「市民、観光客双方にとっての心地よい空間づくり」

### 5 柳川の「地域力」による実現

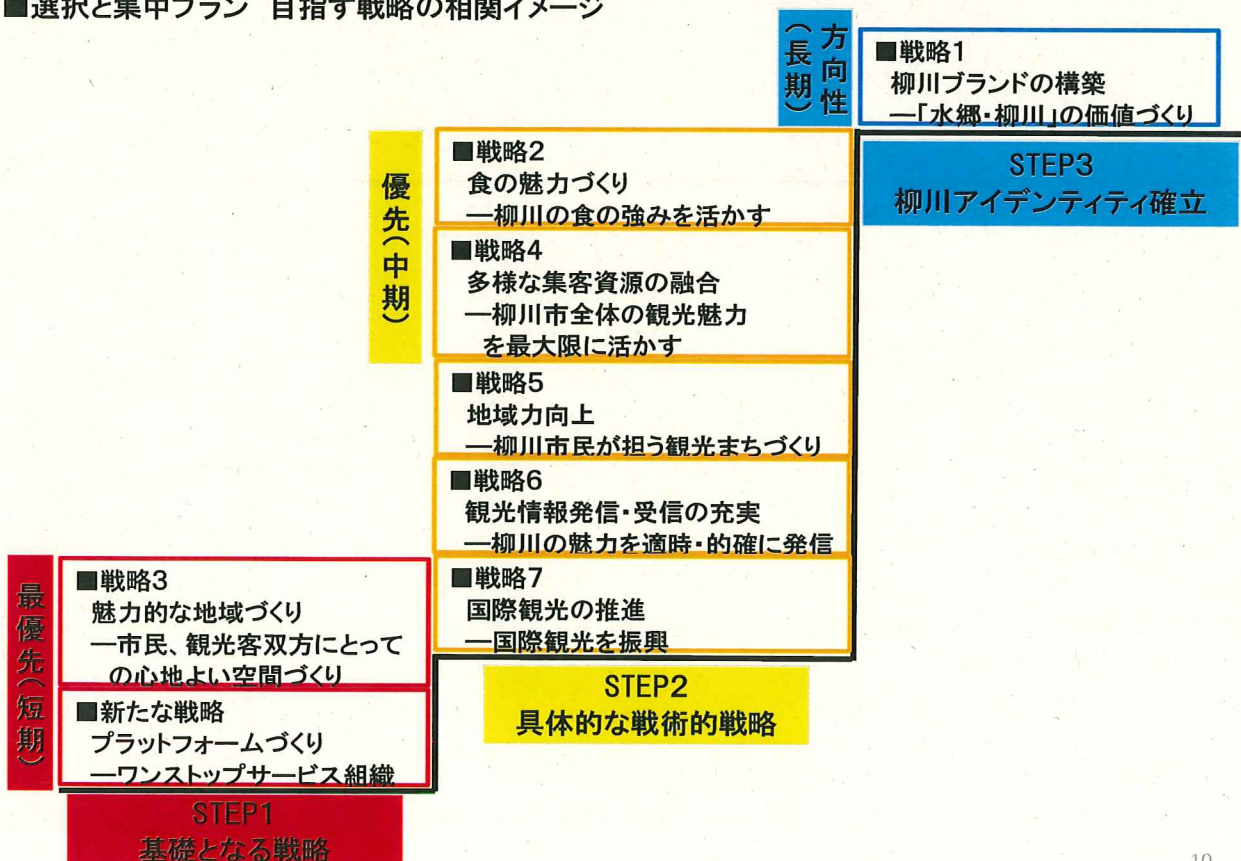
「やり方」は、「できる可能性」を十分に協議して事業化する。

事業の実施にあたっては、観光の地域貢献度を啓発するとともに、市民と観光の距離を縮める視点から、「柳川の身の丈に合っている」、「柳川人が根付かせる」、「やっている人が楽しむ」など、主体は柳川の連携、即ち「地域力」であることに主眼を置いて取り組む。

9

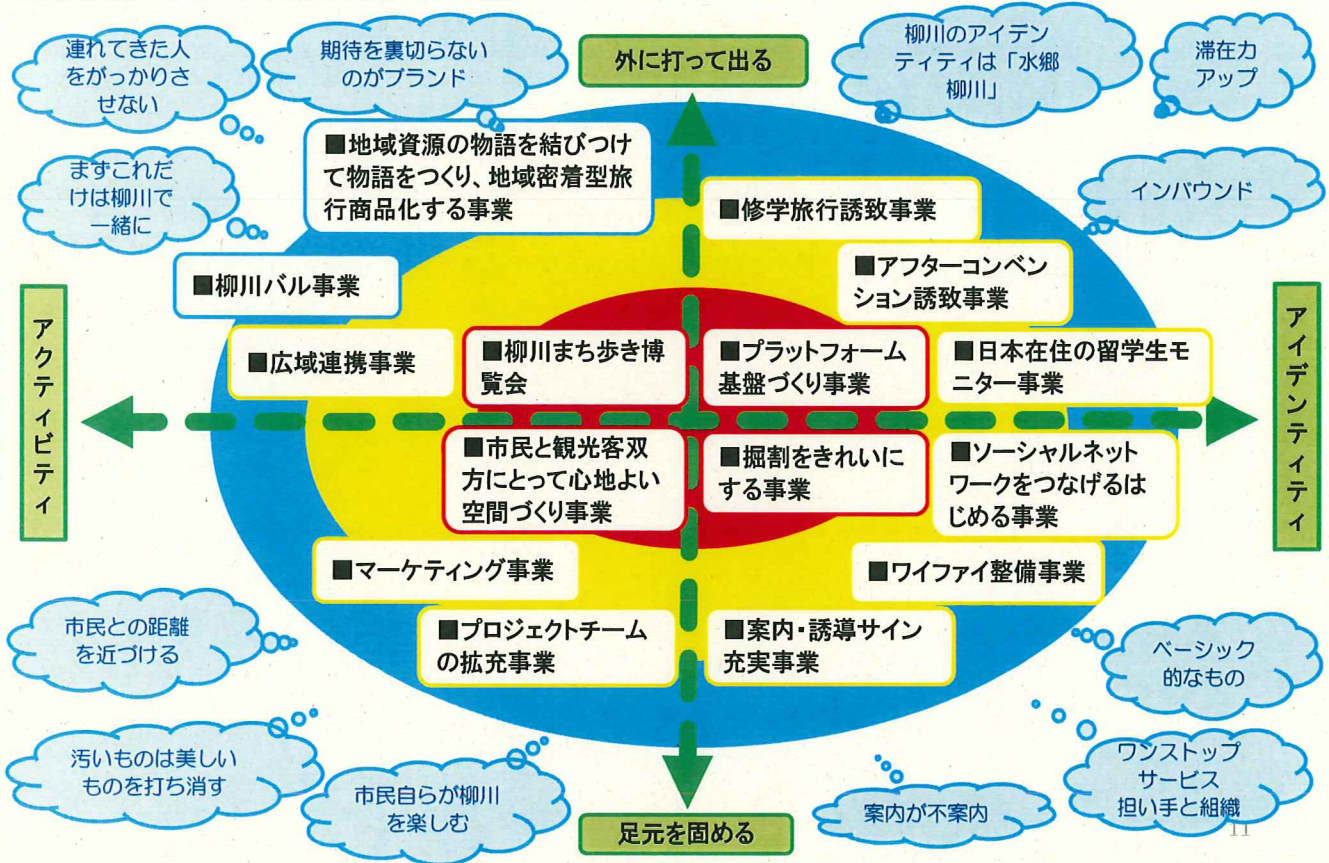
## 議題1 前回提言のポイント 平成24年度～3年間の戦略優先

■選択と集中プラン 目指す戦略の相関イメージ



# 議題1 前回提言のポイント 平成24年度～3年間の重点事業

## ■選択と集中プラン 事業の位置づけの整理



## 議題1 前回提言後の事業展開事例 ～振り返り評価は次回以降に

### ■平成24年度新規事業

- ①着地型観光推進事業の推進＝「水郷柳川ゆるり旅」  
将来のワンストップ組織をイメージし、主催は観光協会と市で組織。
- ②スマートフォン観光アプリ「柳川旅物語」開発。
- ③市民・観光客にとって心地よい観光空間づくり事業の拡充  
川下りコースの清掃を終日に延長、水辺美化活動を充実。
- ④柳川フィルムコミッションの設立＜平成24年11月1日＞
- ⑤地域資源集「柳川千の物語」を活用した観光パンフレット「柳川旅物語」を製作。  
同時に、四カ国語版リーフレットも製作。
- ⑥四カ国語版観光DVDを改訂製作。
- ⑦観光課FBを立ち上げ、情報発信。(713イイね)

### ■平成25年度新規事業

- ①「おもてなしの心日本一」事業
- ②KLMオランダ航空 福岡～アムステルダム直行便就航事業  
6月に福岡市とのプロモーション。10月にVJ事業として九州運輸局や福岡県と連携。
- ③九州在住の留学生モニター事業。
- ④全国書店販売の「るるぶ九州2014年号」に柳川特集。
- ⑤新市発足後、初の観光ポスター(3連作)製作。同時にスクリーン、手提げ袋も製作。
- ⑥雛祭りさげもんめぐり20周年、流鏝馬10周年記念事業。

## 議題1 前回提言後の事業展開事例 ～振り返り評価は次回以降に

### ■平成26年度新規事業

- ①おもてなし日本一事業  
受け入れ態勢の充実を図る。
- ②観光庁VJ連携事業  
VJ事業として、10月に九州運輸局、熊本市と連携。台湾エージェントを招聘。

### ■平成24年度以降の継続事業例

- ①福岡観光プロモーション協議会や県と連携して、修学旅行の誘致活動。
- ②九州運輸局や九州観光推進機構、県、福岡市、福岡観光コンベンションビューローと連携し、アフターコンベンションやインセンティブツアー、各種招聘事業などを受け入れ。
- ③九州新幹線全線開業効果を高めたり、福岡ソフトバンクホークスファームの誘致活動として、筑後七国での連携事業。
- ④柳川市観光振興プロジェクトチームのメンバーの輪を広げる。

13

## 議題1 提言後の事業展開事例



柳川市民が  
地域資源を活用し、  
お客様をおもてなし。

H25春:19プログラム  
H25秋:14プログラム  
H26春:30プログラム

<DM顧客:449人>



西鉄車庫見学



日本唯一のやまと学校



流鏝馬見学



早朝の魚市場



夜のカクテル講座



寺社仏閣巡り



どんこランチ



JA直売所で旬の野菜とワイン



農園で海苔ピザづくり

14

## 議題1 提言後の事業展開事例



■九産大サテライト:韓国の大学生が柳川の発酵文化モニターツアー

■サテライト大学  
韓国旅行社へ造成依頼



■九産大芸術学部と地域商店街とのコラボ事業

■台湾インセンティブツアーを「おもてなし」



柳川ブランド認定事業



観光振興プロジェクトチーム  
「愛嬌挨拶」事業

15

## 議題1 提言後の事業展開事例

■「おもてなし日本ー」事業。



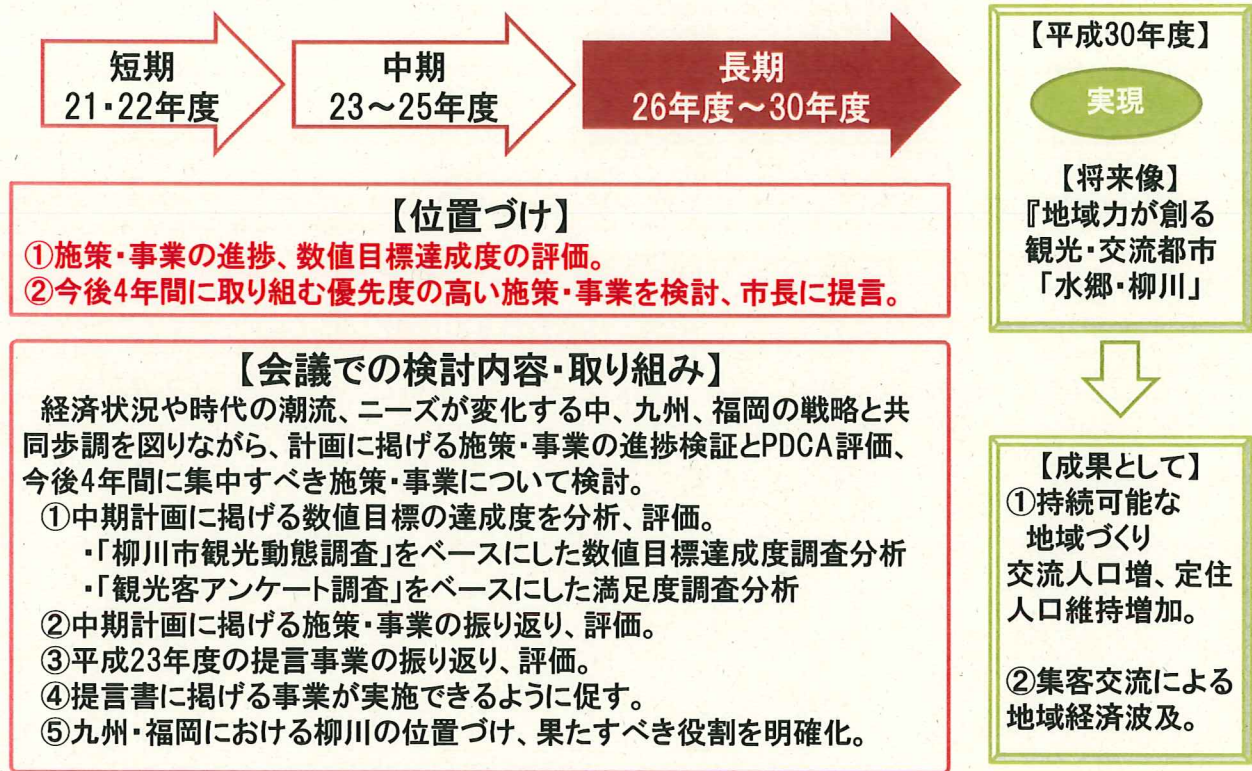
■水郷柳川ブランドの構築に向けた、市民・お客様双方に「心地よい空間づくり」。



16



議題2 柳川市観光まちづくり委員会 ～位置づけと検討内容



議題2 委員会の位置づけと取り組み（案）



### 議題3 委員会スケジュールプラン（案）

年月	会議・内容
7月9日	●第1回委員会 ～目的・委員会の位置づけ共有 ・委員会の位置づけ、計画概要、達成度調査中間報告など
7月	・アンケート調査（4回目、3日間）
8月上旬	●第2回委員会 ～提言に結び付く課題整理 ・中期計画までの事業の振り返り評価（市内関連団体事業含む） ・前回提言事業の振り返り評価 ・九州・県・福岡の戦略・事業の情報共有 ・【提言】に向けた課題の整理
8月下旬～	<9月議会（予定）>
9月中旬	●第3回委員会 ～満足度を高める方策整理 ・アンケート調査まとめ（満足度調査結果の評価） ・マーケット、ターゲット、ニーズ検討 ・【提言】に向けた重点課題の整理 ・【提言】キーワード抽出
10月 (11月)	●第4回委員会 ～27年度以降の方向性協議 ・【提言】たたき台に基づく協議・まとめ
年内	●委員会から市長に提言
その後	●パブリックコメント実施（委員会で情報共有） →平成27年度以降の事業計画具体化・事業化

19

### 議題4 柳川市観光動態調査まとめ（平成15年以前は、旧柳川市データ）

単位：人、円

年	入込客数	消費額	宿泊客数	白秋生家	川下り	御花	海外
元年	986,200	4,353,949,920	69,568	214,284	289,380	245,453	
2	980,300	4,337,242,420	71,191	197,535	293,099	216,185	
3	1,117,800	5,139,087,360	105,828	217,035	362,896	267,613	
4	1,197,100	6,167,183,200	101,016	229,743	387,582	293,051	
5	1,152,700	6,207,328,330	100,389	207,463	375,733	280,705	
6	968,300	5,324,329,790	97,572	166,204	295,329	230,247	
7	993,500	5,619,051,770	107,268	160,912	314,704	227,629	
8	1,032,800	5,847,380,200	106,641	156,935	340,633	210,951	
9	1,046,800	5,987,902,950	99,672	148,600	349,470	235,317	
10	1,051,500	5,581,155,800	91,652	140,444	365,383	241,808	
11	1,052,700	5,436,385,650	79,390	127,629	389,137	241,563	
12	1,053,600	5,343,206,400	70,971	127,665	386,447	242,552	
13	1,071,800	5,529,153,600	78,747	118,430	407,354	260,742	
14	1,073,000	5,460,435,800	70,135	106,171	411,470	251,005	
15	1,112,100	5,555,540,000	65,259	104,474	400,450	237,138	
16	1,290,000	6,089,742,100	63,544	82,945	344,864	237,700	
17	1,203,000	5,137,591,000	60,397	80,854	341,573	213,500	
18	1,255,000	5,312,082,178	62,434	82,611	359,598	231,150	
19	1,218,000	4,935,041,637	54,879	89,099	356,380	188,206	
20	1,171,000	4,836,692,287	52,408	77,890	320,943	159,160	20,588
21	1,156,000	4,783,851,178	51,548	75,434	316,483	161,342	10,603
22	1,159,000	4,689,542,363	42,239	65,149	315,702	133,429	21,506
23	1,055,000	4,350,205,000	38,525	59,905	283,960	150,951	24,024
24	1,173,600	4,537,631,300	41,710	56,857	292,154	137,990	36,954
25	1,245,200	4,855,784,250	41,902	53,634	342,512	149,043	65,727
比較	96.53%	78.23%	39.06%	23.35%	83.24%	50.86%	177.86%

## 議題4 柳川市観光動態調査分析

### ■平成25年観光動態調査 主要な動向

- ①川下り利用者は、3年連続の伸び。海外のお客様の体験増が一つの要因。
- ②御花利用者は、3年前の水準に回復した。

	平成25年(A)	平成24年(B)	比較(A-B)
川下り	342,512人	292,154人	50,358人
御花	149,043人	137,990人	11,053人
宿泊客	41,902人	41,710人	192人
西鉄柳川駅乗降者(定期以外)	1,953,948人	1,950,990人	2,958人

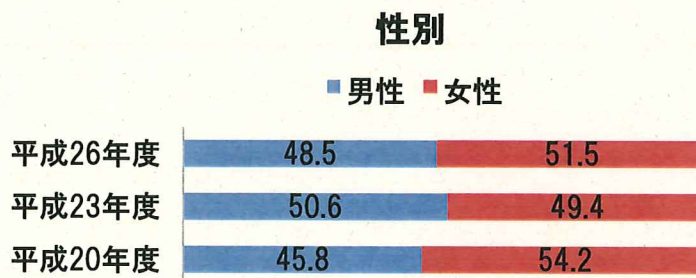
- ③外国人観光客は、前年比28,773人の増。

21

## 議題4 観光客アンケート調査 <中間報告>

計画に掲げる数値目標の達成度や満足度を、九産大商学部長千教授に委託して調査。平成25年度、26年度に4回実施予定。本資料は、昨年10月と今年3月、5月の3回分の調査を中間的に集計。平成20年度と23年度に実施した調査結果と比較。※現在、クロス集計中。

### (1)お客様の性別



### (2)年代別

- ・40代までで全体の半数を占める。
- ・団塊の世代を中心に60代が伸びている。



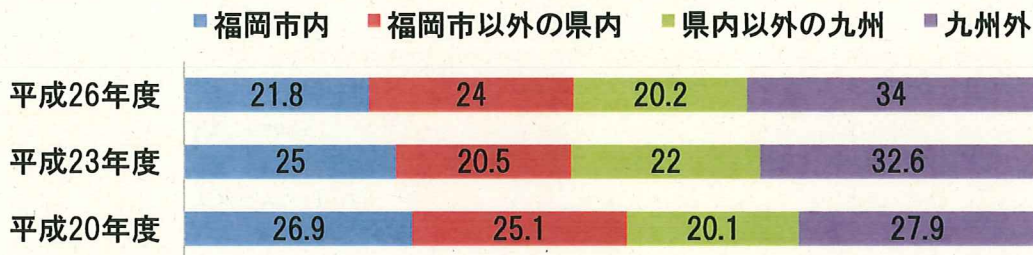
22

## 議題4 観光客アンケート調査 <中間報告>

### (3)お客様の居住地

- ・前回同様、九州圏外からの割合が最も高い。
- ・福岡市内居住者の割合が減少。

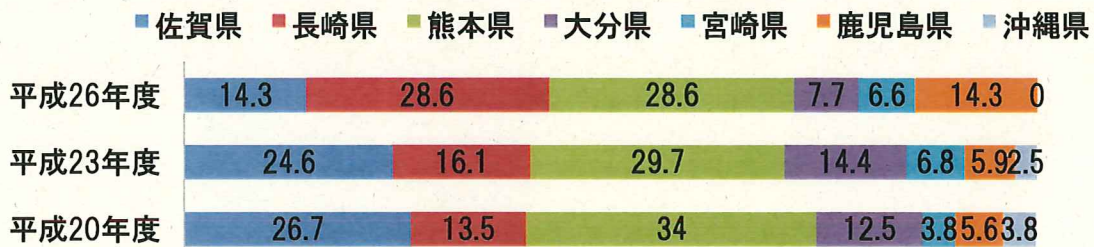
#### 居住地別推移



### ①九州内の県別割合

- ・長崎県、鹿児島県からが増加している。

#### 九州・沖縄内の居住地



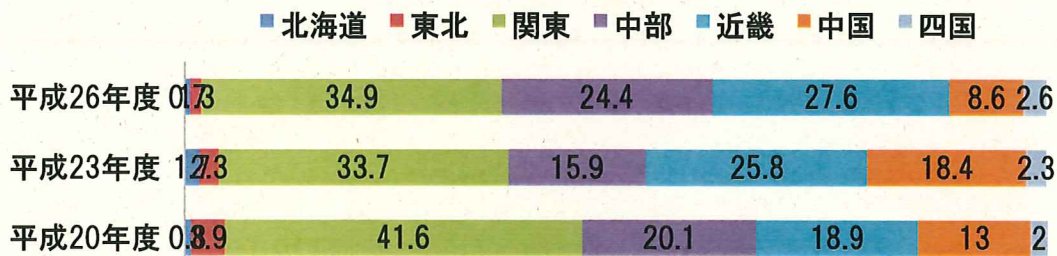
23

## 議題4 観光客アンケート調査 <中間報告>

### ②九州圏外の居住地

- ・関東地方からの割合が最も高い。
- ・中部、近畿からが増加。

#### 九州外の居住地



### (4)訪問回数

- ・2回目以上のリピーターの割合が増加している。

#### 訪問回数



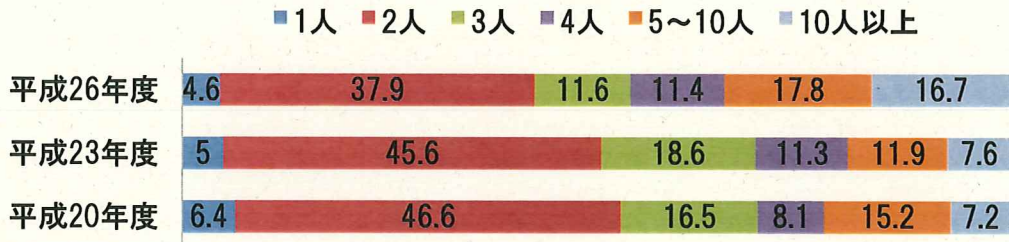
24

議題4 観光客アンケート調査 <中間報告>

(5) 旅行人数

・10人以上の団体客が増加している。

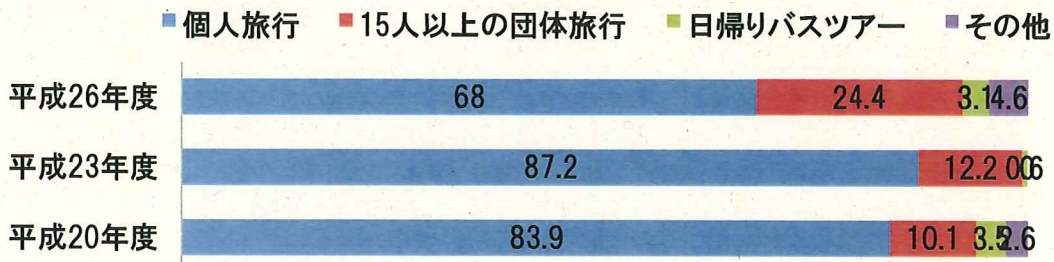
旅行人数



(6) 旅行形態

・団体旅行の割合が増加している。

旅行形態

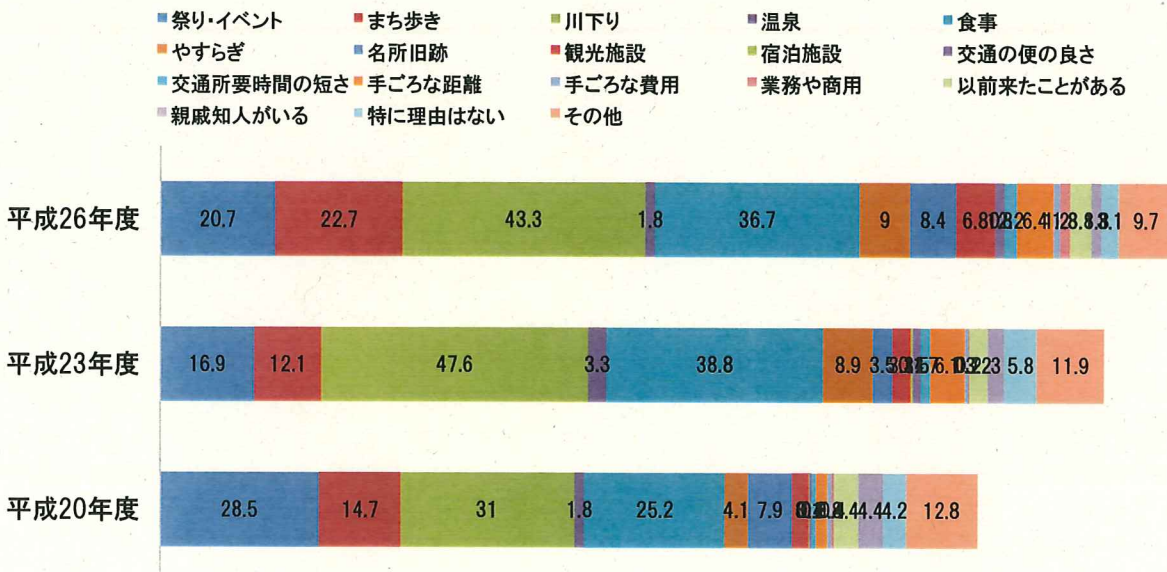


議題4 観光客アンケート調査 <中間報告>

(7) 訪問理由(複数回答あり)

・食事の割合が増加している。

訪問理由



## 議題4 観光客アンケート調査 <中間報告>

### (8) 観光消費額

・川下りを除く、すべての項目で増加している

	平成20年	平成23年	今回	前回調査との増減
宿泊費	11,540	11,996	13,385	1,389
飲食費	2,650	2,614	3,348	734
おみやげ費	2,650	3,183	3,578	395
市内交通費	1,340	1,281	1,785	504
川下り費	1,410	1,425	1,425	0
入場・観覧・利用料等	610	594	722	128

(単位:円)

27

## 議題4 観光客アンケート調査 <中間報告>

### (9) 満足度

- ・すべての項目において前回調査から満足度が高まった。22.2%~5.1%アップ。
- ・すべての項目において目標値に達した。

	平成20年 調査結果	目標値(%、平成)			平成23年 調査結果	今回調査 中間報告	前回調査 との差
		22年	25年	30年			
食事	59.2%	60.0	65.0	70.0	67.8%	77.2%	9.4%
みやげ品	37.2%	40.0	45.0	50.0	25.8%	48.0%	22.2%
観光施設と その内容	42.6%	45.0	50.0	55.0	51.6%	61.8%	10.2%
柳川までの案内看板 等の整備状況	36.4%	40.0	45.0	50.0	34.2%	49.8%	15.6%
旅行中の移動	37.3%	40.0	45.0	50.0	35.7%	46.2%	10.5%
観光施設、街の人たち のおもてなし	54.2%	55.0	60.0	65.0	58.8%	68.6%	9.8%
市内での観光情報	35.0%	40.0	45.0	50.0	34.7%	50.6%	15.9%
旅行全体	62.1%	65.0	70.0	80.0	67.5%	72.6%	5.1%

28

## 議題4 観光客アンケート調査 <中間報告>

### (10)まとめ

#### 1 年代別

- ①20代、30代の割合が減少。41.4%(平成23年度)→27.7%(平成26年度)
- ②60代の割合が増加。14.9%(平成23年度)→25.9%(平成26年度)

#### 2 居住地

- ①福岡市内からの割合が減少。25%(平成23年度)→21.8%(平成26年度)
- ②九州外からの割合が増加。32.6%(平成23年度)→34%(平成26年度)

#### 3 訪問回数

- ①2回以上の割合が増加。49.2%(平成23年度)→57.9%(平成26年度)

#### 4 旅行形態

- ①団体旅行の割合が増加。12.2%(平成23年度)→24.4%(平成26年度)

#### 5 訪問理由

- ①食事の割合が増加。12.1%(平成23年度)→22.7%(平成26年度)

#### 6 消費額

- ①川下りを除くすべての項目で増加。

#### 7 満足度

- ①おみやげの満足度が大幅に増加。25.8%(平成23年度)→48%(平成26年度)

29

## 議題4 観光客アンケート調査 改善要望事項 <中間報告>

項目	内容
掘割・川下り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臭い匂いを改善してほしい(複数あり)</li> <li>・堀の水が汚い。綺麗に(多くあり)</li> <li>・川下りの説明をもっと詳しく</li> <li>・船頭さんが面白くない</li> <li>・川下り料金が高い</li> <li>・川下りを本州にアピール</li> <li>・川の整備の学生ボランティアに</li> <li>・航路の短縮はやめて(⇔川下りの時間が長すぎ)</li> <li>・舟の速度を上げる</li> <li>・川下りの時に自由に降りられるように</li> <li>・堀にコイを。蚊も減る</li> <li>・川下りから帰りのバスが少ない</li> <li>・川下りの周りの風景に風情を</li> </ul>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントなどのPR不足</li> <li>・見て歩きやすいパンフレット・散策マップの充実(複数あり)</li> <li>・パンフレットが少しわかりにくい</li> <li>・観光情報が少ない</li> <li>・駅でもう少し観光地をアピールしてほしい</li> <li>・外部への情報発信</li> <li>・お勧めのスポットを詳しく載せてほしい(複数あり、HPIについても)</li> <li>・(施設の)分かりやすいところでマップ配布、設置を。(多くあり)</li> <li>・川下り以外の立ち寄りところを知りたい</li> </ul>

議題4 観光客アンケート調査 改善要望事項 <中間報告>

項目	内容
交通・移動・案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100円周遊バス</li> <li>・バスの便が少ない(複数あり)</li> <li>・シャトルバス運行</li> <li>・送迎バスの充実</li> <li>・交通の便が特に悪い(多くあり)</li> <li>・交通量を減らしてほしい</li> <li>・車が危ない(複数あり)</li> <li>・交通量が多く歩きにくい</li> <li>・道路が狭い</li> <li>・イベント中は車の通行禁止</li> <li>・電車の便数を増やしてほしい</li> <li>・西鉄柳川からのアクセス</li> <li>・案内板(看板)が分かりにくい(複数あり。少ない、も。)</li> <li>・標識が分かりにくい(案内標識が不十分、も。)</li> <li>・観光案内所が分かりにくい</li> <li>・レンタサイクルが不備</li> </ul>
おもてなし・マナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道の車のマナーや人のマナーが今一つ</li> <li>・食事処の対応が悪い</li> </ul>
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの改善(複数あり。和式トイレがいや。トイレが少ない。)</li> <li>・駅のトイレを綺麗に(御花のトイレも意見あり)</li> </ul>

31

議題4 観光客アンケート調査 改善要望事項 <中間報告>

項目	内容
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が不足・整備(多くあり)</li> <li>・駐車場と駐車場案内が分かりにくい(多くあり)</li> <li>・無料駐車場がほしい</li> <li>・駐車場の土ぼこり</li> </ul>
宿泊・食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドジョウ料理が減っている</li> <li>・食事にスプーンを出してほしい</li> <li>・宿泊施設、食事する場所が少ない(複数あり。観光施設も少ない、も。)</li> <li>・子供が食べられる料理を</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入場料の無料化</li> <li>・御花で食事する人には入場料なしで</li> <li>・休憩場所がほしい</li> <li>・以前より改善されていると思う。もう少し色々なお店ができて賑やかになればと思う(複数あり)</li> <li>・水族館が開いているかわからない</li> </ul>
資源・お土産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源が不足</li> <li>・お土産があまりない(お土産の種類が少ない)</li> <li>・さげもん、量より質を</li> <li>・毎年新しい物を工夫</li> <li>・ぱっとする場所があまりない</li> <li>・柳川城址があれば</li> </ul>

32



## 議題4 観光客アンケート調査 改善要望事項 <中間報告>

項目	内容
景観・まちなみ	<ul style="list-style-type: none"><li>・昔の町並みを維持してほしい(昔の町並みと今のまち並を区別してほしい)</li><li>・昔のままの町風景を保ってほしい(昔の風情を残してください)</li><li>・景観保全をよろしくお願いします。のんびり出来ました</li></ul>
海外	<ul style="list-style-type: none"><li>・外国人向けのサービスが不足</li><li>・韓国語の表示・言語</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・灰皿が無い</li><li>・もう一度来たいと思える町づくり</li></ul>